

日本の風景を巡る写真作品20点を展示

フォトシティさがみはら2011写真新人奨励賞受賞作品

本山周平「日本2001-2010」より

フォトシティさがみはらの過去の受賞作品を紹介するミニ展示「PCSアーカイブス」を開催しますのでお知らせします。今回は、2011年度に写真新人奨励賞を受賞した本山周平氏の「日本2001-2010」を2つの会期に分けて展示いたします。



「2007. 6. 5 神奈川 相模原」



「2001. 8. 16 熊本 八代」

1 展覧会名

PCSアーカイブス#6「本山周平 日本2001-2010」

2 日時

I期 令和4年12月19日（月）～令和5年1月19日（木）午前9時～午後5時

II期 令和5年1月24日（火）～令和5年2月17日（金）午前9時～午後5時

3 会場

相模原市民ギャラリー アートスポット

（相模原市中央区相模原1-1-3セレオ相模原4階 相模原駅直結）

4 休館日

毎週水曜日及び年末年始 [12月29日 (木) ~1月3日 (火)]

5 内容

相模原市民ギャラリーでは、ミニ展示コーナー「アートスポット」で相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら（PCS）の写真新人奨励賞受賞作品を紹介する小展示「PCSアーカイブス」を不定期で開催しています。

その第6回目となる今回は、2011年度の受賞作である本山周平氏の「日本2001-2010」を展示いたします。

本作は、作者が帰郷してふるさとの写真を撮り始めたことに端を発し、現在もライフワークとして継続しているシリーズです。本作では、日本各地の何気ない風景が撮られています。そこに写る風景は、誰かにとってはかけがえのない大切な日常の断片でもあります。写真について「僕と世界とを繋ぐ架け橋」と称する作者は、自らがかつて撮った故郷の写真とそれらを重ね合わせ、旅先で出会った人々と交流を重ねながら、プライベートなアルバムを作るかのように、その瞬間にしか在り得なかった景色を写し撮ります。

新型コロナウイルス感染症により私たちの日常は大きく変わりましたが、それでも新たな行動様式のもと、移動や接触の制限が緩和されつつあります。そうした社会情勢をふまえ、本展では作者が撮り続ける日常や旅での出会いの尊さに迫ります。

問合せ先 相模原市民ギャラリー 042-776-1262
